資料１

令和元年度　永明公民館事業報告

子育て、親子支援に関する仕掛け

●えいめい・きょうあい子育てひろば

（１）ねらい

①子育てに本当に必要なことは何かを考える。

②ストレスや不安の原因を考え、対処方法を知る。

③参加者どうしの交流の中で悩みや知恵を共有する。

④地域での仲間作りを図る。

（２）概要

平成２０年度より共愛学園前橋国際大学との共催事業として永明公民館を会場に実施している。講師および託児者の手配は大学が、周知や募集を公民館が行っている。人権および男女共同参画に関する内容を含む。

対象：就学前の子を持つ保護者

在籍者数：２２名　　延べ出席者数：１１６人、託児利用９７人

（３）内容

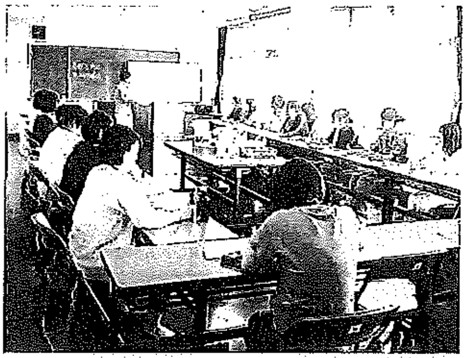
回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	6/5(水) 10:15～11:45	ひとりでがんばっていませんか？（肩の力をぬいて、子育てと母親という立場を考えます）	講義 グループワーク	共愛学園前橋国際大学地域共生研究センター研究員　前田　由美子	18 託児有
2	6/12(水) 10:15～11:45	ココロとカラダからのメッセージを感じよう (ストレスを抱えすぎないために)			20 託児有
3	6/19(水) 10:15～11:45	自分の体、いたわってますか？ (子育てで疲れた体への思いやりストレッチ)	実技	ＡＦＡＡ認定エアロビクスインストラクター 下田　博美	17 託児有
4	6/26(水) 10:15～11:45	子育てはだれがする？ (女性・男性みんなでやると、どう変わる)	講義 グループワーク	共愛学園前橋国際大学地域共生研究センター研究員　前田　由美子	19 託児有
5	7/3(水) 10:15～11:45	子どもの人権 (尊重するってどうすること？わがままとはどうちがう？)			20 託児有
6	7/10(水) 10:15～11:45	子どものこころ・親のこころ (どうしたら通じ合う？)			22 託児有

（４）評価と反省

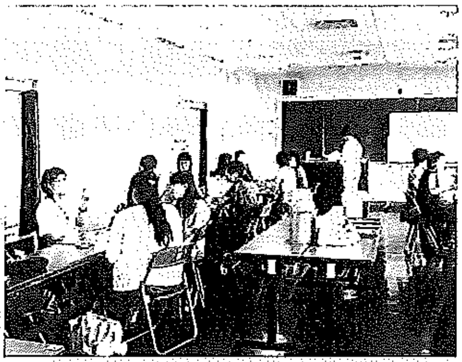
講師の長年の研究に基づいたプログラムが、多くの母親の共感を得ており、毎年大人気の講座である。講座を通して、子育てしにくい現在の環境や固定観念がストレスの一因になっていること、頑張り過ぎなくてよいこと、他の人も同じ悩みを抱えていることなどに気づくことができ、前向きになれたといった感想が多く寄せられた。また、自分のための時間を持つことの大切さを感じることができたようだった。

近年、社会的に大きな問題となっている「しつけと虐待」、「男性の育児参画」

についても触れ、今後の育児に生かされるとともに、周囲へも広まることを期待する。大変満足度の高い講座であるため、継続して実施できたらよいと思う。



講義の様子



グループワークの様子

●永明すくすく子育て教室

（1）ねらい

①親子のふれあいを通してより良い親子関係を築く。

②育児に追われる親のリフレッシュの機会とする。

③子育てについて学ぶ機会とする。

④親どうしの交流、地域の人との交流により、孤立する親の解消につなげる。

（2）概要

対象：０才（首がすわった子）～３歳の子と保護者

在籍者数：１３組　延べ出席者数：親４０人、子２８人、託児利用２９人

第４回の「ヨガ＆ピラティス」は部屋の都合で２回に分けて実施

託児を永明地区保健推進員とつゆくさの会（ボランティア団体）に依頼

（3）内容

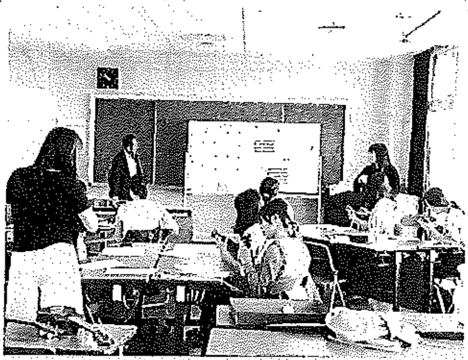
回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	11/ 6(水) 10:00～11:30	癒しの音色 ウクレレ体験教室（ｸﾘｽﾏｽｿﾝｸﾞ） ウクレレに合わせてみんなで合唱	実技	ウクレレ♪ママさんズ(公民館学習ｸﾞﾙｰﾌﾟ会員３名) 三ツ葉楽器㈱代表取締役社長　大澤　茂	9人 託児有 9組
2	11/12(火) 10:00～11:30	親子遊び（ふれあい遊び・折り紙遊び）※地域子育て支援センター事業と共催	実技	地域子育て支援センター・共愛 職員 つゆくさの会(公民館学習ｸﾞﾙｰﾌﾟ・ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ団体)	10組
3	11/20(水) 10:00～11:30	子育て井戸端会議 ・子育ての悩み、困りごと ・いのちのこと、どう伝える？ 絵本の読み聞かせ	講義	幼児教育アドバイザー 井上　昭子	9人 託児有 8組
4	11/27(水) 12/ 4(水) 10:00～11:30	ヨガ＆ピラティス	実技	全日本ヨガ協会認定講師 豊森 英子	12人 託児有

（4）評価と反省

市幼児教育センターや地域子育て支援センター（市委託事業）と連携、また、地元講師、託児ボランティアなど地域の方との関りが持てるよう留意した。学習グループ会員に講師を依頼し学びの循環を図るとともに、地域資源であるウ

クレレを取り入れた。託児に関して、託児者１人にかかる負担軽減のため昨年より人数を増やした。また、第１回、第３回に１５分程度、親、子、託児者が一緒に参加する時間を設け、託児ボランティアとの交流、親子のふれあいを増やすように努めた。

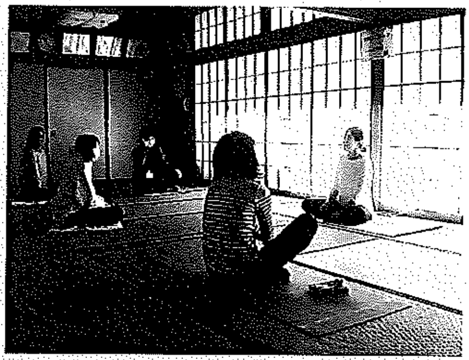
今回の講座では、参加者がいつも笑顔で皆が参加しやすい雰囲気だったことが大変ありがたかった。「子どもと離れられてよかった」「リフレッシュできた」等の感想が多いことから、今後も継続していきたい。



第１回 ウクレレ体験教室の様子

第２回 折紙遊びの様子

第３回　読み聞かせの様子



第４回　ヨガ＆ピラティスの様子

●親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！”
（ベビープログラム：略称 BP）　桂萱・永明・城南公民館合同開催

（１）ねらい

①初めて子育てをする母親が、安心できる雰囲気の中で子どもとふれ合い、親子の絆を深める。

②同じ子育て環境にある親子の交流、情報交換の場とする。

③乳児期の育児についての必要な知識を学ぶ。

④育児に対する不安を軽減する。

（２）概要

対象：前橋市内在住で２～５ケ月の第１子（H31 月４日４日～令和元年８月３日生まれ）を育てている母親とその子ども

在籍者数：１２組　　延べ出席者数：４５組

開催場所：永明公民館

（３）内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	組数
1	10/3（木） 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	グループワーク	前橋市子育て支援課 BP ファシリテーター 佐藤　亮子 狩野　鎮江	12
2	10/10（木） 10:00～12:00	赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える			11
3	10/17（木） 10:00～12:00	赤ちゃんとの接し方 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・身体の発達と事故予防			10
4	10/24（木） 10:00～12：00	親になること ・今の私の心の状態を考える ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも大切に			12

（４）評価と反省

アンケートに、１２人中１０人が「赤ちゃんや育児のことを話し合える友達ができた」、２人が「少しできた」と回答しており、仲間づくりの機会になったことがわかる。また、「心にゆとりが持てるようになった。」、「赤ちゃんに対する声がけが多くなった」等の感想が寄せられ、今後の育児に大いに役立つことと思う。

周知方法に関して、３館の館報、ホームページ、フェイスブックに掲載する他、保健センターの検診や学級、「こんにちは赤ちゃん訪問」の際にチラシを配布した。しかし、定員の１６名には達せず、募集について課題が残った。

グループワークの様子

情報交換する様子

●プレパパ教室「子育てをする前に知っておきたいこと」

（１）ねらい

①子どもが生まれる前から父親が学習することで、より良い親子関係、家族関係を築く。

②父親が育児に関わる重要性を学ぶ。

③男女協働参画社会を目指す。

（２）概要

対象：初めて父親になる人、これから子ども（２人目以降を含む）を持つこ

とを考えている男性。（講座に不慣れな男性に配慮し、妻同伴の受講も可とし、また、妻と子どもが遊びながら待機できる部屋を用意した。）

在籍者数：１９名　　延べ出席者数：３５名

協力：共愛学園前橋国際大学（延５名の学生が子どもの遊び相手として協力）

（３）内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	1/19（日） 10:00～12:00	親がハッピーで子育てするカギ ・「モデル」のいない現代の父親 ・変化する夫婦関係 ・母を追い詰める二つの「神話」 ・一人の育児のリスク	講義 グループワーク	共愛学園前橋国際大学 地域共生研究センター 研究員　前田　由美子	18
2	1/26（日） 10:00～12:00	パパの出番？ ・育児全般が「出番」 ・出産後のポイント ・育ちの基礎 ・おたがいにﾘｽﾍﾟｸﾄする姿勢	講義 グループワーク		17

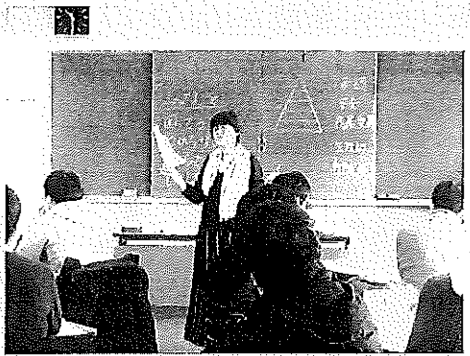
（４）評価と反省

プレパパ対象は初の試みで参加人数等が予想できなかったが、初めて父親になる人、すでに子どもがいる人、約半々の割合で１９名の参加があった。

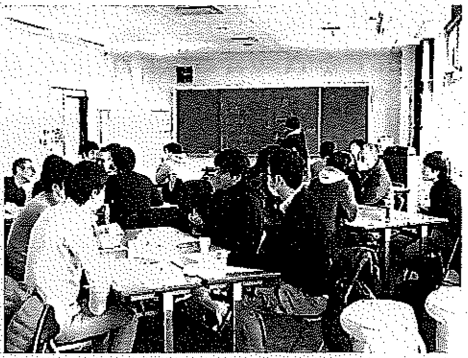
講義では、今の時代の子育ての現状や問題点を知り、これから父親がどのように関わっていけばよいかを学んだ。最初は緊張していた受講者もグループワークでは話が尽きず、父親も交流の場を求めているようだった。講座に取り組む姿勢から、育児に対する父親の意識が以前と比べ変化していると感じた。

各回４名の妻が後方の席で受講、また、各回６組１３名の母と子が別室で遊んで過ごし母親どうしの交流の機会にもなった。母親の負担軽減になればと、大学生ボランティアに子どもの遊び相手を依頼したところ、積極的に親子に話しかけ大変良い雰囲気を作ってくれた。第２回に子ども２人を連れてきた父親がおり、急遽、大学生ボランティアと職員が託児を行うこととなった。

次年度については、今年度の実施状況、開催が土・日に限られることや託児者の確保などの課題を踏まえ、検討していきたい。



講義の様子



グループワークの様子

●永明公民館で遊ぼう・乳児、幼児のための救急時の手当て~~（実施前）~~

（１）ねらい

①親子のふれあいを通してより良い親子関係を築く。

②親どうしの交流、地域の人との交流により、孤立する親の解消につなげる。
③子育て中の親や子育てを支援する人の知識を深める。
④域子育て支援センターと連携し、効果的、効率的な子育て支援を実施する。

（２）概要

毎月１回永明公民館で開催される地域子育て支援センター事業（市委託事業）と共催で実施。

対象：第１回　入園前の子どもと保護者
　　　第２回　乳幼児の保護者、地域で子育て支援にかかわる人
参加者数：第１回　９組（２１名）
申し込み人数：第２回　１６名

（３）内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	12/19（木） 10:00～11:30	・クリスマスリース作り ・親子遊び、読み聞かせ ・クリスマスソング（ウクレレ演奏にあわせて）	実技	地域子育て支援センター・共愛 職員 永明ウクレレ教室（公民館学習グループ）	21
2	3/4（水） 10：00～11：30	乳児・幼児のための救急時の手当て	実技	日本赤十字社群馬県幼児安全法指導員	中止

（４）評価と反省　（第１回）

第１回では、できあがったリースに親子とも、とても嬉しそうだった。また、永明ウクレレ教室会長がサンタクロースに扮して場を盛り上げてくれ、親子、ウクレレ教室会員、皆で楽しい一時を過ごした。さらに、主任児童委員もリース作りの補助、子どもの遊び相手や親の話し相手をしてくれた。

公民館、地域子育て支援センター、公民館の学習グループ、主任児童委員が連携して地域の子育て支援に取り組むことができた。また、月１回永明公民館で開催される地域子育て支援センター事業を地域にＰＲする機会にもなった。

第２回は、子育て中の親のほか、地区保健推進員や祖母等が参加予定であり、また主任児童委員にも協力を頂く予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大に対する教育委員会の方針に基づき中止とした。

リース作りの様子

クリスマスソングを歌う様子

暮らしの学び合い・人権に対応する仕掛け

●子ども夏休みステーション

（1）ねらい

①夏休み中に、学校区や学年が違う子どもたちが集まる機会を設け、地域の子ども達の仲間づくりを図る。

②体験学習を通じて、子どもの主体性やコミュニケーション力の向上を図る。また、プログラミング体験を通じ、論理的思考・アイデア実現力等の向上を図る。

③公民館利用団体や地域の団体を講師にすることで知の循環を図る。また、地元企業を講師にすることで、地域資源の活用を図る。

④おはなし会開催時に、停本所の「こわい本」を貸し出しする事で、停本所の利用促進や読書普及を図る。

⑤地域の特産物である「梨」を食材に利用し食育講座を行うことで、地域の特産物の魅力を再認識する機会づくりとする。

⑥中学生ボランティアに教室運営補助を依頼することで、生徒の自己有用感を高める機会づくりとする。

（2）概　要

前橋市内在住の小学生（及び保護者）を対象に実施。

延べ出席者数：２９９人（開設日　夏休み中の９日間）

（3）内　容

わくわく体験教室　出席者数：１５７人

回	月日・時間	学習主題・内容等	学年	方法	講師（敬称略）	人数
1	7/24(水) 10:00～11：30	プログラミング体験教室	1～3	体験	（株）ジーシーシースタッフ	１９
2	7/24(水) 13:30～15:00		4～6			１６
3	7/31(水) 9:30～11：30	夏休みサイエンス調査隊 ・ブクブク泡の爆発実験 ・色の性質を利用してアサガオをつくろう	1～6	実習	ＮＰＯ教育支援協会北関東 (協力者)木瀬中学校生徒５名	３３
4	8/8(木) 19:00～20:15	群馬テレビ見学 「ひるポチッ！」の見学と番組出演が出来ます。	1～6	体験	群馬テレビ	３５
5	8/19(月) 19:00～20:15	夜のこわいおはなし会 ～夜の公民館でこわ～いおはなしはいかが？～	1～6	体験	駒形読み聞かせの会	５４

こども料理教室　出席者数：４８人

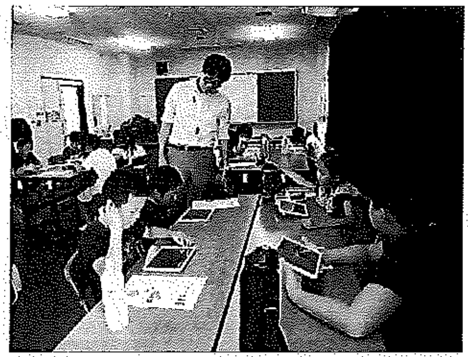
回	月日・時間	学習主題・内容等	学年	方法	講師（敬称略）	人数
1	7/25(木) 9:30～12:30	みんなで作っておいしく食べよう！「おにぎらず、カレースープ、ヨーグルトソースサラダ、キラキラかんてん	1～2	実習	永明地区食生活改善推進員会	２４
2	8/1(木) 9:30～12:30		3～6			２４

宿題おたすけ教室　出席者数：６６人

回	月日・時間	学習主題・内容等	学年	方法	講師（敬称略）	人数
1	8/6(火) 9:30～11:30	夏休みの宿題を仕上げよう 絵画・ポスター① 下書き	1～6	実習	永明水彩画クラブ	３５
2	8/7(水) 9:30～11:30	夏休みの宿題を仕上げよう 絵画・ポスター② 色ぬり				３１

親子の食育教室　出席者数：２８人

回	月日・時間	学習主題・内容等	学年	方法	講師（敬称略）	人数
1	8/22(木) 9:30～12:30	牛乳パックを使ったデコレーション寿司、すまし汁、食べるとコロッケ、果物(梨)のヨーグルト和え	1～6 親子	実習	永明地区食生活改善推進員会	２８

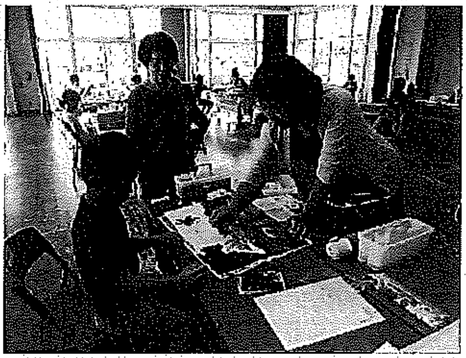


プログラミング体験教室

サイエンス調査隊

群馬テレビ見学

こども料理教室



宿題お助け教室・絵画

親子食育教室

（4）評価と反省

教室の企画については、例年、参加者からのアンケートを参考に企画し、講

師には地域の団体・企業へ依頼している。ここ数年、教室の申込者数も安定しており募集も定員に達していることから、今年は、中学生ボランティアや地域の特産物を活用するなど、教室内容の充実を図ることに重点をおいた。

まず、中学生ボランティアについては、教室運営補助として木瀬中学校へ募集をかけたところ５名の参加があり、その中には小学生時にこの青少年体験・チャレンジ活動に参加していた生徒が数名いた。当日はそれぞれ担当の班を持ち、小学生に教えることを体験。アンケート結果を見ると、小さい子に教えることの難しさを経験しながらも、子どもたちと一緒に実験を楽しむことができ、活動をとおしてやりがいや楽しさなどを感じてくれており、学習の循環が図れた結果となった。

また、今年も永明水彩画クラブや食改など、自主学習グループで活動している方や地域団体の方に指導いただくことで、学習成果を地域へ還元する機会を提供する事ができ、地域間の世代間交流の場ともなった。今年は「宿題おたすけ教室で描いた孫の絵が入賞した」と参加者からお礼の電話もあり、講師にとっても励みになる結果に繋がった。

また、地域の企業であるＧＣＣを講師に昨年から始まったプログラミング教室については、その後近隣市町村からの依頼も多くなっているとのことで、今年は夏休みの予約を４月第２週にしたところ「既にほとんど埋まっている」との回答。今後は開催時期をずらすなどの検討が必要かもしれない。

●子ども冬休みステーション

（１）ねらい

①学校や学年の違う子ども達の交流や地域における世代間の交流を図る。

②地域の団体を講師にすることで知の循環を図る。

③茶道の体験を通して、日本の伝統・文化に触れるとともに、おもてなしの心を考え、学ぶ機会とする。

④オリンピック選手と交流することで、国際理解や互いの国の文化を知る機会づくりとする。

⑤季節感のある体験学習を通じて、伝統文化についての理解を深める。

（２）概　要

前橋市内在住の小学生（及び保護者）を対象に実施。

延べ出席者数　５７人

（３）内　容

回	月日・時間	学習主題・内容等	学年	方法	講師（敬称略）	人数
1	12/7(土) 14:00～16:00	オリンピック選手といっしょにお抹茶体験教室	1～6	実習	茶道部やよい会 内田　初枝 他９名	３２
2	12/25(水) 9:30～11:30	こども書初め教室	3～6		永明ペン字クラブ 勅使川原　葉子 他８名	２５

お抹茶体験教室

こども書初め教室

（4）評価と反省

本市がホストタウン登録している、ベラルーシ共和国のトランポリンナショナルチームと地元小学生との茶道体験教室。国際交流や日本の伝統文化にふれることを目的に開催。初めは緊張した面持ちの子どもたちであったが、選手への質問タイムでは積極的に質問する姿が見られ、和やかなムードのまま茶道体験に移ることが出来た。「選手と一緒に出来ることがめったにないのでとてもうれしかった」「貴重な体験が出来てうれしかった」など、子どもたちからのアンケート結果も好評であった。選手にとっても初めての茶道体験ということで、「子どもたちと一緒に体験が出来て楽しかった」「日本の文化を少し知ることが出来た」などの感想があり、短い時間ながらも茶道を通して楽しく国際交流が図れたようである。

書初め教室は、自主学習グループで活動している方が指導することで、地域の世代間交流を図ることが出来ている。今年で6年目となるが、講師が子ども達一人ひとりに文字の添削をしてくれることで、毎年人気の教室である。

今年も永明ペン字クラブの方が指導補助にあたっていただけたため、より深い指導と円滑な教室運営につながった。

●春の子どもステーション

（1）ねらい

①学校や学年が違う子どもたちの交流を図る。

②地域で活躍する指導者からお菓子づくりを親子で学び、食と健康について知識深める。

③地域における世代間の交流を図る。

（2）概　要

前橋市内在住または在学の小学生を対象に実施。

（3）内　容

回	月日・時間	学習主題・内容等	学年	方法	講師（敬称略）	人数
1	2/29(土) 9:30～12:30	親子で作ろう！フルーツ入りロールケーキ	1～6 親子	実習	永明地区食生活改善推進員会	中止

（4）評価と反省

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今年度は中止。

今年も定員の２４名を超える申し込みがあり、２８名の親子が参加予定であった。

●永明生涯まなび塾

（1）ねらい

①高齢者が、生きがいのある毎日を過ごすため、仲間づくりの機会の提供および生涯学習の啓発。

②健康増進（健康寿命の増進）のための学習機会の提供。

（2）概　要

対象者　市内在住の概ね６０歳以上の人

開催場所　永明公民館

（3）内　容

回	日時	学習主題/内容	学習方法	講師（敬称略）	人数
1	9/6（金） 10:00～11:40	シニアのための家計防衛術！	講義	群馬県金融広報委員会 金融アドバイザー 増田　佳宣　氏	15
2	9/13（金） 10:00～11:20	健康寿命を延ばそう！　みんな元気に健康まえばし２１!!	講義	健康増進課職員	10
3	10/ 6(木) 9:30～12:10	【食育・料理実習】 「しっかり噛んで長寿！」 メニュー・ごはん、かむかむ和風ミートローフ、切り干し大根のサラダ、みぞれ汁、ミルクくず餅	講話 実習	永明地区 食生活改善推進員	16

（4）評価と反省

生涯まなび塾は、一昨年までは老人クラブに参加者の取りまとめを依頼していたが、老人クラブの負担のため、老人クラブへ取りまとめの依頼は行わずに募集することとしている。

今年度については、周知については老連各クラブ員に対するチラシの配布依頼を行った。

これまで高齢者教室は野外学習（バス見学）の人気によるところが多く、野外学習に参加したいがために講座を受講する人が多かった。バス委託料の削減で、参加促進のインセンティブを失って、新たなチャレンジが必要と感じた。

交流・地域ふれあいに対応する仕掛け

●ウクレレ体験講座

（1）ねらい

①製造量日本一を誇るウクレレ製造会社が地区内に存立することから、地域の産業を活用した講座を実施する。

②子どもの頃から、地元産のウクレレに親しみ興味を持ってもらう。

③ウクレレを通して、子どもどうし、また、地域の人や企業との交流を図る。

④自主学習グループの構成員に講師を依頼することで、学んだことの地域還元と地元講師の育成を図る。

⑤小中学生を持つ親を講師とすることで、子どもを含めた自主的な活動への発展を期待する。

（2）概要

「こどもウクレレ教室」は夏休みの体験学習として実施した。

対象：市内在住の小学生・中学生

出席者：２３名（小学生２２名、中学生１名）

講座用のウクレレは、三ツ葉楽器（株）より借用した。

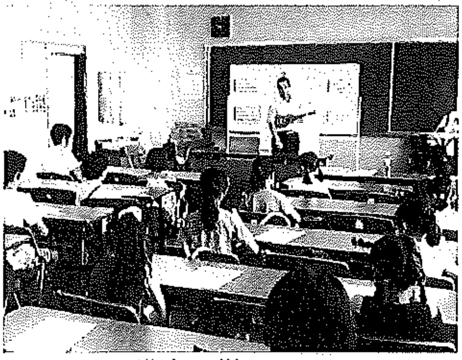
（3）内容

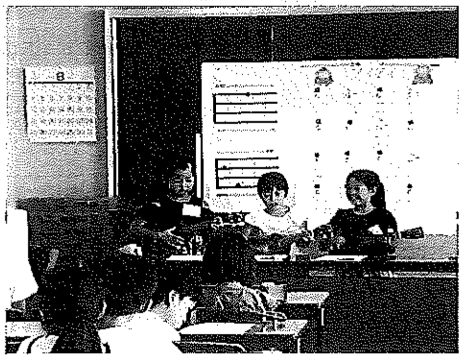
回	月日・時間	学習主題・　内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	8/ 10（金） 9：30～11：30	こどもウクレレ教室 ～ウクレレを 弾いてみよう！～ ・楽器の説明、持ち方 ・弾き方、コードの練習 ・曲の演奏	実習	ウクレレ♪ママさんズ(公民館学習グループ会員3名) 三ツ葉楽器(株)代表取締役 社長　大澤　茂	23

（4）評価と反省

永明地区内で製造されたウクレレを活用した「こどもウクレレ教室」は、今年度で４年目となり永明公民館の講座として定着してきた。毎年参加の受講者から初めての受講者までが、一緒にウクレレを弾き、歌うことで楽しく取り組むことができた。ウクレレを通して学年、学校を超えた子どもどうしの交流、子どもと地域講師、企業との交流の機会となった。

永明地区の特色を活かした講座であるため、今後も、工夫しながら継続していきたい。


講座の様子


演奏する様子

●古文書から学ぶ昔のくらし

（1）ねらい

①郷土の歴史を学び興味を深めることで、郷土への愛着を深める。

②近隣の教育機関との連携により、地区内で発見された古文書を活用した講座を開催し、地域交流を図る。

（2）概要

共愛学園前橋国際大学と連携し、地区内で発見された江戸・明治時代の古文書を活用して初心者向けの講座を開催した。昼間、仕事をしている人等も参加できるよう夜間の開催とした。

対象：原則として市内在住・在勤・在学の一般市民

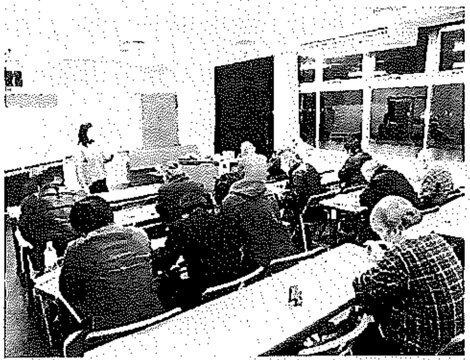
在籍者：２３名　延べ出席者数：４４名

（3）内容

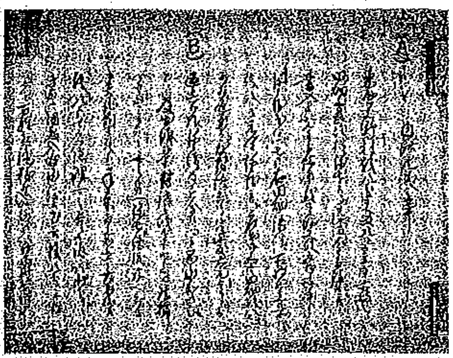
回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	2/3（月） 18:00～20:00	・江戸時代、明治時代の暮らしについて ・古文書の解説 ・東上野町古文書の調査・整理作業について	講義	共愛学園前橋国際大学准教授 野口　華世	23
2	2/4（火） 18:00～20:00	・江戸時代、明治時代の暮らしについて ・古文書の解説 ・東上野町古文書の調査・整理作業について	講義		21

（4）評価と反省

今回は江戸時代の借金トラブルの和解文の読解に挑戦。昨年度に引き続き、公民館事業への新たな参加者の獲得を目的に夜間に実施したところ、高校生２名、大学生１名の参加があった。講師が、古文書の解説だけではなく、時代背景なども織り交ぜながら講義をしてくれたため、初めての方も楽しく学習でき、また、地区内からの参加者が多く、地区内の歴史を知る機会を提供できた。



講座の様子



古文書

●パソコンすてっぷあっぷ講座

（1）ねらい

①得た学びを地域活動（自治会活動など）に還元する。

②学びの中で学生との世代間交流を図る。

③事業効果をより一層高めるため永明公民館・城南公民館・共愛学園前橋国際大学が連携して取り組む。

（２）概　要

９月コース「パソコンすてっぷあっぷ講座」　在籍者数：１６人

対象：市内在住でローマ字入力ができる方

２月コース「パソコンすてっぷあっぷ講座」　在籍者数：２０人(予定)

対象：市内在住でローマ字入力ができる方

開催場所：共愛学園前橋国際大学

（３）内　容・学習時間

９月コース「パソコンすてっぷあっぷ講座」午前１０時～正午

回	月日	学習主題・内容・方法等	講師	人数
1	9/ 9(月)	Wordを利用した	共愛学園前橋国際大学国際社会学部の学生	15
2	9/ 10(火)	はがきの宛名面の作成①		16
3	9/ 11(水)	はがきの宛名面の作成②		16
4	9/ 12(木)	はがきの文面作成		15
5	9/ 13(金)	はがきの印刷		15

２月コース「パソコンすてっぷあっぷ講座」午前９時半～正午

回	月日	学習主題・内容・方法等	講師	人数
1	2/ 17(月)	Wordを利用した	共愛学園前橋国際大学国際社会学部の学生	19
2	2/ 18(火)	はがきの宛名面の作成①		19
3	2/ 19(水)	はがきの宛名面の作成②		19
4	2/ 21(金)	はがきの文面作成・印刷		18

（４）評価と反省

今回も、パソコンすてっぷあっぷ講座が好評のため、９月、２月共に同講座を開催した。受講者により学習の習得に差はあったが、学生ボランティアのサポートにより一人も遅れることなく全スケジュールを予定どおり学習することができた。学生と地域住民が交流できる良い機会にもなっている。

受講者の満足度も高く、地元大学の協力も得て実施している講座であるため、今後もより良い講座となるように大学の担当者と検討していきたい。

受講風景

受講風景

地域の人材をつなぐ仕掛け（自主学習グループ・奨励員活動支援）

●公民館利用グループ連絡協議会研修会

（１）ねらい

①永明公民館利用グループ間の交流促進と活性化。

②社会貢献活動への理解促進。

③公民館活動への理解促進。

④健康寿命の延伸。

（２）概　要

対象者は永明公民館利用グループ連絡協議会員及び地域住民として実施。

（３）内　容

回	日時・会場	学習内容	学習方法	講師等（敬称略）	人数
1	4/15(月) 14:40～15:40	素敵な音楽とのふれあいとウクレレミニコンサート	講話 演奏	NPO 法人：群馬ミュージックセラピー 理事長　内田　六次	112
2	2/18(月) 14:00～15:30	生バンドで歌う懐かしのメロディー	実習	アマチュア音楽バンド 「桑原健とブルースター」	82
3	2/10～3/9 (1ヶ月間)	サークルの見学・体験	自由 学習	各グループによる	実施 中

（４）評価と反省

第１回研修会は、自主学習グループ連絡協議会に所属する「永明ウクレレ教室」「ウクレレ金曜クラブ」で講師を務めている内田氏に依頼し開催した。「永明ウクレレ教室」「ウクレレ金曜クラブ」会員の日頃の学習成果を住民に発表する機会となったほか、日頃顔を合わすことのない学習グループ会員相互の交流の機会となった。

第２回は、連協会長である小成田邦郎氏の所属するバンドの演奏とみんなで歌唱。受講生は聴くだけでなく歌って参加ということで、とても和やかな雰囲気であった。表題の「生バンドで歌う懐かしのメロディー」のとおり、いわゆる懐かしいか曲が登場し、受講生も懐かしくも生き生きとした表情で聴き歌っていた。

第１回と第２回ともに、連協会員相互の交流の促進と併せて地域住民にも参加いただいたことで、公民館活動への理解を促す内容でもあったと思う。本研修会だけでなく、連協行事との連携や主催事業の講師依頼など、日頃の学習成果を地域へ還元できる工夫を今後も考えたい。

●生涯学習奨励員研修会

（１）ねらい

①生涯学習奨励員の資質向上を図る。

②自治会との連携強化を図る。

（２）概要

対象者　地区内１３自治会の生涯学習奨励員・自治会長

開催場所　永明公民館、野外学習（上野村）

（3）内容

回	月日・時間	学習内容	学習方法	講師（敬称略）	人数
1	5/27(月) 15:00～16:30	「関東の華・厩橋」から「県都・前橋」へ	講義	前橋学 センター長 手　島　　仁	22
2	9/20(金) 9:30～16：30	野外学習 「旧黒沢家住宅・神流川発電所見学」	見学	―	26

（4）評価と反省

第1回は、前橋学センター長の手島仁氏を講師にお招きし、江戸から明治にかけての前橋市の変遷、特に県都となるまでの先人たちの功績を、重点的に講義していただいた。前橋市と利根川の関係、高崎市との比較、鉄道の歴史と繁栄など、興味深い講義であったため受講者も真剣に耳を傾けていた。今回の受講者は地域活動の中心的役割を担っており、改めて郷土の成り立ちを学ぶことは、今後の活動の一助になるものと思う。また、アンケート結果からも、「興味深いテーマであった。」、「今後の前橋の発展を考えさせられた。」といった内容がみられ、有意義な講座となった。

第2回は、上野村で野外研修を実施した。旧黒沢家住宅は、上野村の歴史・産業等の資料が展示されており、他地域の特性を学習し地元での活動に還元するという点で、自治会長・奨励員の研修先として適していたと思う。

神流川発電所では施設概要等を学習した。参加者も発電所の規模に驚き、ガイドの説明に熱心に耳を傾けていた。

参考：永明地区生涯学習奨励員連絡会行事（上記研修会を除く）

回	月日	地区イベント名	内容
1	5/12（日）	のびゆくこどものつどい・ふれあいの広場	昔の遊びコーナーを担当 わりばし鉄砲、ブンブンこま ジャンプかえる等の工作
2	11/2（土） ～11/3（日）	地区文化祭	グラウンドゴルフコーナー担当 各町広報誌等の展示

（第1回　講義）

（第2回　野外学習）

●情報提供事業

（1）「館報えいめい」の発行

①公民館主催事業、地区内各種団体行事のお知らせ及び結果報告、行政からのお知らせ等を掲載し、毎月１５日に発行している。

②Ａ４版２ページ両面印刷で地区内全戸配付（９，３４９部／月）している。

（2）ホームページ・フェイスブックを活用した情報提供の充実

前橋市ホームページ内に公民館報をはじめ各種事業紹介のページを展開している。また、フェイスブックへの掲載は、随時行っている。

（3）各町自治会会報の展示及び交換

天川大島本町・天川大島原町・野中町・上長磯町・下長磯町・女屋町・東上野町・小島田町・駒形町・小屋原町（管外）の各町で作成している会報を公民館内に展示するとともに、各町会報の交換を行っている。

（4）団体等の印刷物の展示等

公民館利用グループ連絡協議会会報など、随時展示を行っている。

（5）短歌・俳句交流の広場発行

Ａ４版２ページ両面印刷で毎月１５日に発行し、地区内回覧を行っている。

短歌・俳句および、写真・絵手紙等は公民館利用グループの作品を主に掲載し、地区内投稿者の短歌等作品も掲載している。

●協力支援事業

（1）社会体育事業他への協力・援助

主催	月日	事業内容等	参加対象等	人数	会場
各実施委員会	5/12（日）	第35回のびゆくこどものつどい 第22回ふれあいの広場	地区住民 中学生・大学生ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	（住民）1,600 （学ﾎﾞﾗ）180	永明公民館 木瀬中学校運動場
	10/6（日）	第47回地区市民運動会	地区住民	2,000	木瀬中学校運動場
子ども会育成団体連絡協議会	6/9（日）	第44回子ども会卓球大会	小学生４年～６年	59	永明小学校体育館
	9/8（日）	第32回親子スマイルボウリング大会	小学生４年～６年と保護者	86	永明小学校体育館
	1/5（日）	第39回子ども会上毛かるた大会	小学生１年～６年	157	永明小学校体育館
体育協会	5/26（日）	第41回ソフトボール大会	18歳以上の地区住民（高校生は除く）	300	桃ノ木川グランド
	7/7（日）	軽スポーツ祭	地区住民	120	勤労福祉センター体育館
	11/24（日）	第41回卓球大会	18歳以上の地区住民（高校生は除く）	250	勤労福祉センター体育館
	2/23（日）	第14回ソフトバレーボール大会　※新型コロナウイルスの関係で中止	18歳以上の地区住民（高校生は除く）	—	木瀬中学校体育館
他	11/ 2（土）	永明地区 青少年を明るく育てる集い （地区別会議）	地区住民	231	永明公民館 多目的ホール
	12/14（土）	親子そば打ち体験教室 （青少年育成推進員会）	小学生～中学生と保護者	17	永明公民館

（2）社会福祉協議会開催事業への協力・援助

月日	事業名	参加対象等	人数	会場
11/21（木）	研修視察	社協役員等	89	東京ﾋﾞｯｸﾞｻｲﾄ （福祉機器展）
11/16（土）	ふれあい交流会	社協役員・身障者等	78	原町自治会館

（3）地域づくり協議会開催事業への協力・援助

月日	事業名	参加対象等	人数	会場
5/12（日）	炊き出し訓練（のびゆく）	イベント参加者	協力者25人	永明公民館
8/22（木）	防災講座	地域住民	34人	永明公民館

8/31（土）	ボウリング大会	地域住民	112 人	地区内ﾎﾞｳﾘﾝｸﾞ場
10/15(火)	健康づくり講座	地域住民	36 人	永明公民館
11/2（土）	炊き出し・防災訓練（文化祭）	イベント参加者	協力者 23 人	永明公民館
12/7（土）	健康ウオーキング大会	地域住民	187 人	永明地区内コース
3/8（日）	地域づくり推進大会　※新型コロナウイルスの関係で中止	地域住民	—	永明公民館

（４）団体育成

自主学習グループへの援助と協力（３９団体）

（５）子ども会育成指導者・インリーダー研修

(1)ねらい

子ども会活動をより充実させるため、子ども会インリーダー・子ども会育成指導者を養成し資質の向上を図る。

(2)概要

地区子ども会員、子ども会育成会役員を対象にインリーダー講習会・指導者養成を実施。

(3)内容

子ども会指導者講習会

月日・時間	学習主題・内容	講師・協力者（敬称略）	人数	会場
6/22（土） 14:00～16:00	リーダーキャンプ講習会 （事前講習会）	市子育連役員	（子ども） 26 （大人） 30	永明公民館
6/30（日） 8:00～16:00	リーダーキャンプ講習会 （実技等講習会）	市子育連役員		小平の里

子ども会育成指導者講習会

月日	事業内容	講師・協力者（敬称略）	人数	会場
5/27（月） 19:00～20:30	初級指導者講習会	市子育連役員	（大人） 64	永明公民館
6/ 3（月） 19:30～20:50	卓球審判講習会	永明卓球ｸﾗﾌﾞ 矢島　一紀	（大人） 50	永明公民館
6/22（土） 14:00～16:00	リーダーキャンプ講習会 事前講習会	市子育連役員	（大人） 35	永明公民館
9/ 2（月） 19:00～21:00	スマイルボウリング審判 講習会	ｽﾎﾟｰﾂ推進委員 栗本　直樹	（大人） 54	永明公民館
11/25（月） 19:00～21:00	上毛かるた審判講習会	田代　光夫	（大人） 91	永明公民館